

ホスピタルストリート

\No.13/
Hospital Street 2025

新年度のご挨拶



左から桑原病院長、寺野理事長、大橋副院長

理事長 寺野 彰

地方独立行政法人香取おみがわ医療センターも4年目になり、中期計画期間の最終年度となりました。これまでの3年間は、よちよち歩きながらも全職員の努力と香取市のご助力によって、法人としての経営を行ってまいりました。全国的に各病院とも厳しい経営を強いられており、当医療センターも例外ではありません。特に、都心に集中する医師偏在の解消が喫緊の課題ですが、当法人の経営状況は少しずつではありますが、明るい兆しは見えてきております。第2期中期計画の策定に向けては、今年度が大きな山場を迎えると認識しております。全職員が一致団結して業務遂行に邁進していく覚悟です。

この4月から、新しく大橋医師が副院長となり、病院長を助けて病院運営を活性化してまいりますのでよろしくお願いいたします。

病院長 桑原 憲一

法人化してから、広報誌の発行や市民公開講座等の広報活動に力を入れたため、外来患者数は増加を続けています。昨年は病床稼働率を上げるための委員会・部会を立ち上げ、経営改善に向けて職員一丸となって努力し、病床稼働率を上げることができました。

現在の当医療センターの問題は、医師の高齢化で、昨年・今年と定年退職した常勤医がいることです。今後は常勤医の確保にさらに注力していきますが、当医療センターですべての疾患を診られるわけではありません。対応できる基幹病院との連携が重要で、急性期を過ぎたら当医療センターに転院して継続加療できる体制も整えてまいります。今後も地域住民の皆さんに、さらにより医療を持続的に提供していけるよう職員一同頑張っております。

副院長 大橋 健二

令和7年4月1日付けで香取おみがわ医療センター副院長を拝命いたしました大橋健二と申します。

医師になって以来、母校の神経内科医局に所属し、関連病院を含めて研鑽させていただきました。その後平成23年から約12年間、東日本大震災後の福島県内で勤務をし、令和5年3月から当医療センターで勤め始めたところです。現在は、一般内科診療、透析管理、訪問診療などに携わっています。

今年3月に循環器内科部長が定年退職したことにより、患者さんにはご不便をおかけする点もございますが、職員が一丸となって、これまで以上に香取地域を中心とした周辺地域の皆さんに貢献できるよう、努力していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

未来を見据えた、確かな

●病床外来運営管理



質の高い医療と持続可能な運営を目指して

副看護部長 兼 病床外来運営管理室

渡辺 智紀

病床外来運営管理室は、病床及び外来の円滑かつ効率的な運営を通じて、質の高い医療提供と経営基盤の安定化を目指す部署です。昨年度は「地域包括ケア病床運用部会」「救急応需率向上部会」「コスト意識向上部会」の3部会を発足し、多職種チーム体制による患者さんの生活復帰支援、地域ネットワークを活かした救急医療体制強化、適正な医療の提供を推進しました。今年度は、これらの成果を基盤に、病床管理や退院支援の充実を図り、地域住民の皆さんの健康のために、安心して利用できる医療を提供していきます。

●入院 急性期一般病棟



患者さんの思いに寄り添った入院看護

東病棟看護科 看護師長

遠藤 美枝

急性期一般病棟として、整形外科と眼科の手術患者さんと内科の急性期患者さんの受入れを主に行います。入院や手術で不安に思う気持ちに寄り添い、きめ細やかな説明を行うことで、

患者さんが安心して手術や治療を受けられるようにしていきます。また、術後合併症の予防や痛みの緩和、転倒予防に力を入れ、安心して入院生活を送れるようお手伝いします。リハビリテーション科や地域医療支援室など、多部署と連携を図り、患者さんが安心して退院できるための支援を行います。

地域包括ケア病棟



安心できる看護を提供する地域包括ケア病棟

西病棟看護科 副看護師長

小久保 香苗

5月から地域包括ケア病床が50床へ増床し、地域包括ケア病棟となってスタートしました。西病棟看護科は、安心できる看護を明るく提供できるように日々業務に携わっています。

西病棟は、急性期治療を終えた患者さんが、在宅復帰や施設へ移行するための橋渡しの役割を担っていきます。退院後、住み慣れた地域で個々に合った日常生活が送れるよう、多職種連携で支援します。また、必要に応じて介護や福祉サービス、在宅療養や施設入所の調整もサポートします。

人を守る力、共に育む



おもいやりの心で 尊厳ある看護の提供

看護部長 (認定看護管理者)

篠塚 信子

看護部では「おもいやり」を理念として掲げ、香取おみがわ医療センターに来て良かったと心から思っただけのような、一人ひとりの価値観を大切にしたいと尊厳ある看護を提供します。

おもいやりは、相手が何を望み、どんな気持ちかを注意深く考え接すること、相手の身になって考えたり、推察して気遣いをしたりすることを意味します。相手をおもいやりながら、変化する環境に柔軟に対応できる、笑顔あふれる職場づくりに努めています。

また、看護師としての成長を支援するため、「地域で暮らす人々を支え見守り続ける看護師」を教育目標に掲げ、JNAクリニカルラダーやeラーニングを活用し、看護師一人ひとりのキャリアアップを支援しています。看護職を目指している方々、ぜひ一度施設見学にお越しください。



安心と信頼のサポート

地域医療の架け橋となり、
地域に健康と安心を



住み慣れた地域で
継続して生活できる支援

副看護部長 兼 地域医療支援室長

藤原 浩美

地域医療支援室は、医療・福祉・介護の専門職が協力し、患者さんが退院後も自分らしく生活できるように支援しています。

医療ソーシャルワーカーと退院支援看護師は、退院する患者さんやそのご家族が病気や障害を抱えながらも、自宅や施設で安心して生活できるようにサポートしています。地域の保健、医療及び福祉サービスと連携しながら、退院後の生活に必要な支援を調整しています。

ケアマネジャーは、患者さんに必要な介護サービス計画を立て、通院の負担が大きい患者さんには、訪問診療や訪問看護で専門的なケアを受けられるようにサポート体制を整えています。



●外来



地域の健康を守るための
パートナーとして

外来看護科 看護師長

菅谷 小百合

外来看護師は、地域の皆さんが安心して医療を受けられるようにサポートしています。私たちは、患者さんの健康を守り、より良い生活を支えるパートナーです。地域医療では、健康相談や診療補助だけではなく、生活習慣の改善や病気の予防についてもサポートをしています。また、必要に応じて専門医や地域資源との連携を図り、適切な医療や支援を受けられるよう調整します。外来看護師は、一人ひとりにより添い、身体だけでなく心のケアも行いながら、地域全体の健康を支える存在であり続けます。

●透析



安全を確保したケアの提供

透析看護科 看護師長

加藤 婦美枝

透析看護科は、患者さんの状態変化に敏感に反応し、円滑に透析治療が行えるようチームワークを大切にしています。

透析療法は1回4時間もの時間を要します。この時間を安全に過ごせるように、透析機器の

点検や回路の組立て、施行中の観察など細心の注意を払いながら進めています。また昨年5月から、透析患者専用の通院送迎サービスを開始しました。患者さんやご家族の負担を軽減し、安心して治療を継続できるようサポートします。

●手術



患者さんが安心して
手術に臨めるように

手術科 副看護師長

石井 清美

手術科では、安全・安心な手術看護の提供を目指し、脊椎や関節疾患を中心とした整形外科手術と白内障を中心とした眼科手術を実施しています。つらい症状を抱えている患者さんや日常生活に不便さを感じている患者さんが少しでも気持ちを楽にして手術が受けられるよう、笑顔を忘れず、患者さんの気持ちに寄り添った看護を心掛けています。

手術科看護師は、患者さんに関わる時間が限られていますが、少ない時間の中で少しでも患者さんの負担を軽くし、早期回復と社会復帰に向けた手助けをしています。

食中毒を予防しよう！

これからの季節、春から梅雨に向かい気温が上がると、食中毒が発生する危険がたくさん潜んでいます。食中毒を予防して、おいしく食事をいただきましょう。

食中毒予防の3原則

①つけない(清潔、洗浄)

料理や食事の前は、手のひらや甲、指と指の間、爪の間、手首など、石鹸やハンドソープを用いてしっかり洗う。

食品を保管する際は、必要に応じてポリ袋に入れるなど対策をし、肉や魚から出る水分を他の食材に付着させない。

②増やさない(迅速、冷却)

冷凍、冷蔵の食品を室温に放置しない。新鮮なうちに料理し、作ったらずちに食べ、保存する場合は小分けする。

③やっつける(加熱、殺菌)

食材は中心までしっかり加熱する。まな板、包丁、スポンジなどは洗浄後に熱湯や漂白剤で消毒する。

新着情報

◆令和7年度 新入職者について

今年度は医師1名、看護師3名、看護補助員1名、事務員1名の計6名が新たに香取おみがわ医療センターの一員になりました。

これからもスタッフ一丸となって、常に患者さんの気持ちに寄り添い、心のこもった質の高い医療やサービスの提供ができる病院を目指して取り組んでいきます。



職員紹介(常勤医師)



専攻医
長崎 侑子
消化器内科

スポットライト

4月から香取おみがわ医療センターで勤務させていただくことになりました、長崎侑子(ながさきあやこ)と申します。前任の多賀谷先生と代わりまして、半年間お世話になります。現在、消化器内科の後期研修医として消化器内科全般の診療に携わりながら、日々学んでいるところです。至らぬ点多々ありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◆ボランティアを募集しています

ボランティアの皆さんは、当医療センターを利用される患者さんに頼りにされ活躍しています。主な活動は、①院内のご案内、②再来機や精算機の操作説明、③車イスへの移乗・移動のお手伝い、④車イスの点検整備、⑤リハビリ庭園の維持管理などです。携わりたい仕事を選んで都合の良い日程で活動しています。会員を募集していますので、ぜひお電話または直接ボランティアまでお問い合わせください。

◆住所や電話番号は変わりないですか？

就職に伴う保険証の変更や、入学や転勤などで住所変更がある場合は、自治体で手続きを行った後、マイナンバーカード(保険証)を当医療センターの窓口にご持参ください。

当医療センターから書類を郵送したり、ご連絡を差し上げることがありますので、早めの手続きをお願いします。



平日・日中の受診を
心がけましょう！



時間外診療は緊急性の高い救急搬送患者のために設置されています。

*夜間・休日を避け、平日の日中にかかりつけ医に診てもらいましょう。



地方独立行政法人

香取おみがわ医療センター

TEL 0478-82-3161(代表) FAX 0478-83-3032

〒289-0332 千葉県香取市南原地新田438番地1

休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始

診療受付 平日8時から(予約が必要な診療もあります)

診療科により診療時間は異なりますので、詳しくはホームページ等でご確認ください。

<https://www.hospital.omigawa.chiba.jp>

